

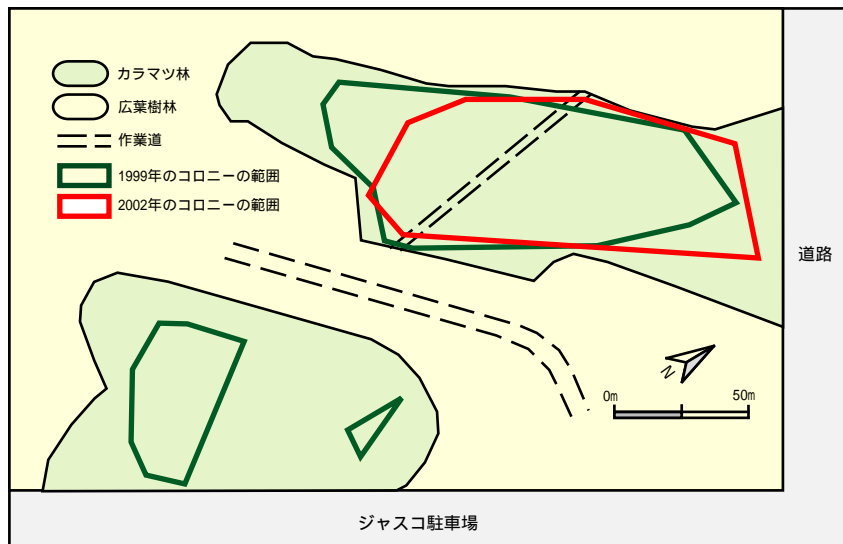
# アオサギ観察会

2003年4月17日

今回は、昨年暮れに行ったコロニーの調査結果について簡単に御報告します。このコロニーについては、1999年にも同様の調査を行っているのですが、その3年前と較べて明らかに変わったのはコロニーの位置です。3年前は駐車場に面したカラマツ林にも多くの巣が見られましたが、今回は奥のカラマツ林にのみ巣が確認されました。やはり、できることなら人の気配は感じたくないというのがサギたちの本音なのでしょう。



コロニー内部



平岡コロニーの概念図

また、営巣木は3年前が108本だったのに対し、今回は244本と倍増しています。同様に、巣の数も114巣から265巣へと大幅に増加しました。一方で、営巣面積は減少しているため、巣の密度は高くなったわけです。もちろん、全ての巣が使われているわけではないのですが。

さて、今の時期、サギたちは抱卵の真っ最中です。その彼らが抱いている卵は淡いブルー。とてもきれいな色ですが、アオサギ自身も、光の加減によってはこのような色に見えることがあります。青さぎという名も、あながち詐欺ではないのです。



アオサギの卵